

「鳥取を IT でアップデートする！」鳥取発 25 周年を迎えた Axis のアツい社員さんを直撃！



児玉「4 社目最後の Axis についてね！オフィスの雰囲気がこれまでの会社とぜんぜん違うなー笑」
對馬「ホントだ。なんか東京の IT 企業のオフィスにいるみたい。ビルの最上階だしね(5 階w)」
児玉「鳥取で IT って想像しがたい人もいるだろうから、どんな企業なのか話が楽しみだな〜」
對馬「さっそくお話を聞いてみよう！」
児玉「受付がかっこよすぎる」



【株式会社 Axis 山尾さん、嘉本さん】

児玉・對馬「今日よろしくお願いします！」
山尾・嘉本「よろしくお願いします。」
児玉「まずは山尾さん、嘉本さんの簡単な自己紹介とお二人がどのようなお仕事をされているのかを教えてくださいいただけますか？」
嘉本「はい。私はもともと米子の出身で、情報系の専門学校に通った後この会社に入社しました。今年で 4 年目ですね。鳥取県内のお客様に対して IT を導入するサポートをするという仕事をメインで行っています。実際の中身は開発と営業が半分半分ですね。」
児玉「開発だけでなく、営業もされているんですね！」
對馬「山尾さんはいかがですか？」
山尾「はい。私は気高の出身で、大学は鳥取環境大学に進学しました。大学卒業後は東京で働いていたのですが、その後鳥取に U ターンしてきて 3 年目になります。今は鳥取のお客様にシステムの導入サポートやお客様の困り事を解決できるような提案をしています。一方で週の半分は東京にいて笑。」
児玉「毎週飛行機で...少し大変そうですね。」
山尾「いえいえ笑。東京ではシステムを新しくするための提案をお客様にしています。」
對馬「山尾さんは、東京から U ターンされたということで、会社の掲げる「U ターン人材の受け皿に」という言葉がぴったりですね。」
山尾「そうですね。30 歳までには戻ってきたいというのもありました。」
對馬「鳥取環境大学に入られたというのはどのような経緯だったのですか？」
山尾「もともと鳥取商業高校に通っていて、情報処理を学んでいたのが、IT に興味が湧いて大学へ進みました。」
児玉「もう少しだけお伺いしたいのですが、IT に興味を持った原体験ってあったりしましたか？」
嘉本「意外と、いつの間にか興味を持ってたっていう感じでしたね。こうだからやりたいというわけではなく最新の技術を使ってとかへの憧れからかもしれないですね。」



写真)山尾さん



写真)嘉本さん

【IT ってなんか難しそうですね 笑】

山尾「IT のイメージってどんな感じですか？」
對馬「プログラマーが毎日パソコンに向かってカタカタ打っていたり...」
児玉「けっこう人と会うことなくパソコンに黙々と向き合ってるって感じですか？」
嘉本「間違っていないですけど...汗」
山尾「それ以上に人と接する機会が多いですね！」
嘉本「開発するにしてもお客様のところで、常駐してコミュニケーションを取りながらやってるイメージですかね。」
山尾「一人で黙々とって意外となくて、進捗の報告をしたり、わからないところを聞いたり、逆にコミュニケーション取れる学生さんのほうが向いてるかもしれないですね。」
児玉「私達農学部の学生なんですけど、もし IT の世界で働いてみたいと思ったらできますか？」
嘉本「挑戦できると思いますよ。Axis であれば座学 6 ヶ月間を含め 1 年間の研修があるので心配いらないと思います。実際去年の新入社員さんの中でも未経験の人が多かったですね。」
對馬「結構 IT って言うと知識が必要なんじゃないかなって考える学生も多いと思うので、このお話が聞いて良かったです。」
山尾「もちろん入社後は覚えないといけない知識もありますし、IT なので最新の情報についていけないといけないといったところもありますけど、知識があることでお客様からの信頼を得ることに繋がったりするのでチャレンジする領域が広がるのは面白いところですね。」



【楽しいなっていう瞬間は？】

児玉「仕事でどんなときに楽しいなって感じられますか？」
山尾「リリースしてお客様に喜んでいただいた瞬間ですね。実際にお客様と接する機会があるので、役に立てたっていう達成感は大きいですね。」
児玉「逆に失敗してしまって落ち込んだときは何が立ち直る原動力になりますか？」
山尾「失敗の原因究明や改善をとにかく考えて、一度冷静になることですかね。」
嘉本「けっこう上司や周りの人も話を聞いてくれますし。人がいいですね。」
児玉「チームで改善に向けて行動したり、周りの人が助けてくれることって心強いですね。」



【Axis だからできること】

児玉「Axis だからできることってありますか？」
山尾「大きい会社でやっていると大きいシステムの中のいち機能が担当ってなっちゃうんですけど、Axis だと一から十までやらなければならないので、大変ですがとてもやりがいがあるし、自らの視野を広げるきっかけにもなりました。」
嘉本「やっぱり企業自体が大きいと、一人ひとりの見る目が分散してしまうと思いますが、Axis の規模感だと上司や仲間も一人ひとりに合わせたアドバイスしてくれるところというのは魅力なんじゃないかと思います。」



【鳥取って好きですか？】

児玉「鳥取って好きですか？」
山尾「好きですね。個人的には、東京で子育てをするイメージが沸かなかったんですね。やっぱり子育ては鳥取が最高ですね。東京だと満員電車で小学生が乗ってて...そういう経験よりは田んぼを走り回ったほうが楽しいだろうなーって。」
對馬「嘉本さんは鳥取のどんなところが好きですか？」
嘉本「やっぱり通勤時間が短いところですかね。東京とかだと通勤に 1 時間とかかかっちゃうんですけど、今の家からここまでは 5 分ですね 笑。」



【編集後記】

鳥取って IT 化遅れてそう。そう思っている学生が多いですね。でも実際は IT 企業もあって、その一つである Axis さんからは「鳥取に IT を」という熱意が伝わってきました。オフィス正面に掲げられた Change the future with passion の文字はまさしくそれを表しているんだろうな。また社長さんの方針で、給与は東京レベルでというところなど、鳥取に本社を置きながら東京のお客様と仕事を行っている姿は、都会と地方のハイブリッドっていう感じ。就職で都会か地方かで迷う学生って結構いると思うんですけど（自分もそうでした。）、きっと今の時代って、地方にしながら都会の仕事もできるし、都会で得られないものが地方だと得れたり、選択肢の幅ってすごい広がっているなと感じさせてくれた企業でした。鳥取を IT で変える。オフィスも都会感あって、すごく固そうだけど、実は社員さんの熱意で溢れているとてもほっこりする会社でした！

